

下町 深川七福神と松尾芭蕉ゆかりの地

深川は、お不動さんやお宮のお祭りなど、年中行事で江戸市民の遊興地としても賑わったところ。松尾芭蕉が住んだことから、ゆかりの庭園や記念館も。

深川神明宮までは地下鉄をご利用下さい(半蔵門線「水天宮前」から一つ目「清澄白河」で大江戸線に乗り換え、そこからまた一つ目の「森下」下車、乗車時間4分)。深川不動尊からのお帰りの、地下鉄をご利用下さい(大江戸線「門前仲町」から一つ目「清澄白河」で半蔵門線に乗り換え、そこからまた一つ目の「水天宮前」下車、乗車時間5分)

【コース】

- | | | | | | | | |
|-------|----------|-----------|--------|------|---------|-----|-------|
| 深川神明宮 | 江東区芭蕉記念館 | 芭蕉庵史跡展望庭園 | 深川稲荷神社 | 清澄庭園 | 深川江戸資料館 | 龍光院 | 富岡八幡宮 |
| 円珠院 | 心行寺 | 冬木弁天堂 | 深川不動堂 | | | | |

深川神明宮〈寿老人〉

江東区森下1-3-17
電話(3631)5548

深川七福神の寿老人のお宮。深川の地名は、徳川家康の命により、村の開拓者深川八郎右衛門からつけられた。深川神明宮は、この深川村の鎮守のお宮。現在、敷地内には深川八郎右衛門旧跡や庚申塔などの文化財が残る。



江東区芭蕉記念館

江東区常盤1-6-3
電話(3631)1448
9時30分～17時(入館16時30分まで)月曜休(祝日は除く)、年末年始休(12/28～1/4)、入館料/大人100円、小・中学生50円
句空宛芭蕉書簡、与謝蕪村筆「芭蕉坐像図」をはじめ4000点の俳諧資料などを所蔵し、随時展示している。



芭蕉庵史跡展望庭園

江東区常盤1-1-3
9時15分～16時30分 第2・4月曜休(祝日は除く)、年末年始休(12/28～1/4)入園無料
隅田川と小名木川に隣接し、四季折々の水辺の風景が楽しめる。庭内には芭蕉翁像や芭蕉庵のレリーフを配し、往時を偲ぶこともできる。



深川稲荷神社〈布袋尊〉

江東区清澄2-12-12
電話(3641)8055
深川七福神の布袋尊が安置されている。寛永7年(1630)の創立。この付近の旧町名は、深川西大工町で、昭和7年8月1日深川清澄町と改称し、その旧名から西大稲荷と称した。こちらの神社は無住社なので、町会によって管理運営がされている。



清澄庭園
江東区清澄3丁目
電話(3641)5892

一説には江戸の豪商、紀伊国屋左衛門の屋敷跡と伝えられている。その後、享保期(1716～36)に、下総国関宿藩主久世家の下屋敷となり、庭園のもとが形作られた。明治11年(1878)に岩崎弥太郎の所有となり、庭園の整備がなされた。昭和54年、東京都名勝第1号に指定された。



深川江戸資料館

江東区白河1-3-28
電話(3630)8625
9時30分～17時(入館16時30分まで)第2・4月曜休(祝日の場合は翌日)、年末年始休(12/28～1/2)観覧料/大人300円、小・中学生50円(小・中学生のみ入館はできません)
地下1階から地上2階までの3層にわたる高い吹き抜け大空間に、約160年前の深川の佇まいを、当時の沽券図などを参考に忠実に再現した資料館。一つ一つの建物が実際の大きさに造ってあり、自由に中に入ることができ、展示されている生活用具に触れることができる。



心行寺〈福祿寿〉

江東区深川2-16-7
電話(3641)2566

深川七福神の福祿寿が安置されている。元和2年(1616)京橋八丁堀寺町に創立され、寛永10年(1633)現在地深川寺町に移った由緒ある寺院。関東大震災と戦災により二度焼失、現在の本堂は昭和42年に再建され、昭和50年に六角堂が完成した。



冬木弁天堂〈弁財天〉

江東区冬木22-31
電話(3642)1315

深川七福神の弁財天がお祀りされている。冬木弁天堂は、木場の材木豪商だった冬木弥平次が宝永2年(1705)、中央区日本橋茅場町から深川に屋敷を移転した際、邸内の大きな池のほとりに、竹生島から移した弁財天を安置した。古義真言宗に属している。



龍光院

深川江戸資料館

円珠院

冬木弁天堂

富岡八幡宮

深川不動堂

心行寺

深川稲荷神社

芭蕉庵史跡展望庭園

江東区芭蕉記念館

龍光院〈毘沙門天〉

江東区三好2-7-5
電話(3642)3437
深川七福神の毘沙門天が奉納されている。大火で焼失後、慶長16年(1611)にこの地に創立された。毘沙門天は、国土守護の武神として武将の間で信仰されていた。



円珠院〈大黒天〉

江東区平野1-13-6
電話(3641)0491
深川七福神の大黒天が奉納されている。享保5年(1720)11月13日に描かれた大黒天の掛軸があり、木造の大黒天、境内に石造の破損大黒天が安置されている。江戸時代から、深川の大黒天として有名。



富岡八幡宮〈恵比須〉

江東区富岡1-20-3
電話(3642)1315

寛永元年(1624)、当時、永代島と呼ばれた小島に、京の公卿が八幡神像を奉安したのが始まりといわれる。「深川八幡まつり」の中心となる神社で、3年に1度(8月中旬)の本祭りは盛大。境内には「横綱力士碑」「深川の力持碑」「木場の角乗り碑」などの石碑も。



深川不動堂

江東区富岡1-17-13
電話(3641)8287

元禄16年(1703)に始まった成田山新勝寺の出陣帳が深川不動のおこりで、明治14年(1881)に不動堂が完成した。正式名称は成田山新勝寺東京別院。納めの不動(12月28日)や毎月28日の縁日は参詣者で賑わう。境内には「力石」「名優五代目尾上菊五郎の碑」などがある。



松尾芭蕉

ロイヤルパークホテル

水天宮前

門前仲町

森下

A7 深川神明宮

A3

清澄通り

清澄白河

新大橋

隅田川

清洲橋

深川大橋